

宮城県渋滞対策連絡協議会の これまでの取組み

宮城県渋滞対策連絡協議会のこれまでの取り組み



一般道251箇所、高速道路18箇所

一般道36箇所、高速道路13箇所 解除

残り：一般道215箇所、高速道路5箇所 ※R6.3月現在

(参考)H24年度の主要渋滞箇所の特定フロー

	渋滞多発箇所	特定日に起こる渋滞		高速道路上
	観点① 通常時の断続的な渋滞	観点② 休日・観光期等の特定日における渋滞・速度低下	観点③ 高速道路通行止め時の渋滞・速度低下	観点④ 高速道路の渋滞・速度低下箇所
抽出基準1: 混雑指標による客観的な抽出	<ul style="list-style-type: none"> ●混雑による影響が大きい箇所 ・年間総損失時間80万人・時間/年以上 ●ラッシュ時の速度低下が著しい箇所 ・特定時間帯に損失時間182.6人・時間/時以上 ・朝(7～9時)、夕(17～19時)に渋滞(走行速度が20km/h以下)が発生 			<ul style="list-style-type: none"> ●お盆や年末年始を中心に著しい渋滞が発生 ●休日に速度低下が発生
抽出基準2: 地域の実情に応じた個別課題箇所の抽出	<ul style="list-style-type: none"> ●交通結节点周辺で著しい渋滞が発生 ・駅やバスターミナル周辺において渋滞(走行速度が20km/h以下)が発生 ●踏切の影響で著しい渋滞が発生 ・踏切の影響で渋滞(走行速度が20km/h以下)が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ●休日に著しい渋滞が発生 ・観光や大型商業施設への買物等により、休日において渋滞(走行速度が20km/h以下)が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ●高速道路通行止めにより著しい渋滞が発生 ・高速道路通行止め時に、並行する一般道路において渋滞(走行速度が20km/h以下)が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ●交通容量が不足していることで混雑する区間



パブリックコメントによる追加箇所(地域の意見)

主要渋滞箇所の特定

宮城県渋滞対策連絡協議会(親会)とWG等の位置づけについて

- 本協議会は、各道路管理者や警察、道路利用者等の幅広いメンバーが参画。
- 県内の様々な交通課題に対応するため、平成29年度に上愛子地区検討部会、また、令和2年度より各WGを立ち上げ、議論を活性化。

**宮城県渋滞対策
連絡協議会**

上愛子地区検討部会
仙台市上愛子地区(国道48号)の観光期等における渋滞対策について検討

観光渋滞WG
管内の観光地の交通状況をモニタリングし、関係者が議論

施設渋滞WG
交通アセスメントとの連動(渋滞予測の審議、大型施設周辺の交通状況のモニタリング等)

イベント渋滞WG
イベント時の交通マネジメントを関係者が議論

最新技術活用WG
ICT・AI技術等を活用した新たな渋滞対策手法を紹介し、管内への適用検討(民間ビッグデータ、AIカメラ、新たな交差点設計、信号制御等)

本日の議事

1. 主要渋滞箇所の交通状況モニタリング **【資料2】**
モニタリング見直しに伴う、主要渋滞箇所からの解除候補箇所について審議
2. 観光渋滞WG(松島地区)・最新技術活用WGからの報告 **【資料3】**
3. 施設渋滞WG(利府地区)からの報告 **【資料4】**
4. 国道48号さくらんぼ狩り期の渋滞対策 **【資料5】**
5. 道路利用者団体との連携による渋滞対策 **【資料6】**
6. 国道4号山崎交差点における道路交通課題 **【資料7】**
7. 道の駅「東松島」オープン時の渋滞対策について **【資料8】**
8. 仙台市太白区長町商店街エリアにおける社会実験について **【資料9】**
9. 主要渋滞箇所の調査支援について(ETC2.0分析) **【資料10】**